

JET からの手紙

地球の大切さを知る ～JETの見る環境部門と国際協力～

東京都環境局総務部環境政策課国際環境協力担当
Joseph Drake (ドレイク・ジョセフ)

東京の CIR は何をしている？

皆さんは「環境問題」という言葉を聞くと、どのようなことを思い浮かべますか。私ならず、「地球温暖化」や「気候危機」などの言葉を思い浮かべます。JET プログラムに参加する前から聞いたことのある言葉ですが、具体的には何が起きているのか、何をすれば良いのか、わからないところが多くありました。国際交流員 (CIR) として東京都庁の環境局で仕事を始め、さまざまな仕事を通して、ようやくこの現代の大課題である環境問題の理解を深めることができたのではないかと考えています。

JET プログラムに応募した時、派遣先の希望として東京を出しましたが、東京で仕事をするには、その時はまだ遠い夢のようでした。そして今でも信じられないと感じることがあります。環境局での仕事ですが、翻訳や英語のチェックのようなオフィスワークが特に多いです。出張先での通訳の仕事がないわけではありませんが、比較的少ないです。翻訳の中でも、さまざまな仕事を行っています。日常的なメールのチェックや翻訳、数十ページにも及ぶ冊子のチェックや発表資料の翻訳もあります。仕事では環境部門の専門用語などがたくさん出てくるので、今までの日本語の勉強では学んだこともない言葉が多く、覚えるのは大変でしたが、今振り返って、特に印象に残っているのは、「ゼロエミッション東京戦略」という冊子のチェックです。

この「ゼロエミッション東京戦略」というのは、東京の先進的気候変動対策と未来のビジョンや目標をまとめたものです。世界中の都市が気候変動計画を公表する中で、東京がこれからどのように気候変動に対して取り組むかを明確にする重要な役割を果たす冊子の1つです。

仕事を始めてから半年も経たない時に頼まれた仕事なので、本当にできるかどうか、最初は不安もありました。しかし進めるうちに、今日の前にある仕事はただのチェックではなく、大胆な言い方ですが、地球の将来にもつながるものだと改めて考えると、自信が湧いてきて無事に終わることができました。他の CIR も英訳や母国語への翻訳の仕事は多いと思いますが、私の場合は和訳の仕事も割と多くあります。ネット記事やニュースレターの要約など、どれも英訳の仕事に比べて分量は少ないですが、せつかく何年も日本語を勉強してきたので、それを活かして仕事ができることを非常にうれしく思っています。

世界の大都市 東京での生活

CIR を始めるまで、東京のような大都市に住んだことがなく、金沢大学に留学した時も東京に行く機会がなかったのも、まったく新しい環境でした。私の育った場所は自然豊かで、東京ではそれが無いのではないかと、正直なところ心配していました。しかし思いのほか、東京は上野公園や新宿御苑など大きな公園があるだけでなく、西には自然が多い多摩部もあり、そのような点から見れば自分にとっては住みやすいと感じました。

そして、都庁では仕事以外にも新しいことに挑戦しています。例えば、昨年の12月に開催された都庁駅伝大会に参加しました。実は、私は駅伝大会で走ったことがなく、ランニングもあまりやっていなかったのも、チームの足を引っ張ってしまうかと心配もしていましたが(1チーム4人で、一人ひとり皇居を1周して5キロを走るレースでした。)、チームの皆さんが温かく応援してくれて、最後に自分なりのいい記録を残すことができました。職場では、ほかに、ボウリング大会などさまざま



天気のいい日は、都庁から富士山が見えます

なイベントがあります。人事異動などで会えなくなってしまう人もいますが、環境局の皆さんと有意義な時間を過ごせていることを大変うれしく思っています。



駅伝大会を走り終えて

今後の抱負

JET プログラムに応募した理由の1つは日本語能力を磨くことで、日本の大学院に入って日本語、特に漢字の研究を行うという目標が前からあります。環境部門は研究対象である漢字に直接関係はないかもしれませんが、

JET プログラムが終了した後も、東京で積んできた経験を忘れずに進んでいきたいと思っています。

東京で仕事を始めてから、環境局での仕事により、東京だけでなく、世界のさまざまな都市などに貢献できることが分かりました。東京は世界の大都市として多くの国際協力を行っており、国際環境協力担当の一員である自分も直接係わることができます。これからより翻訳や通訳に力を入れながら、東京の取り組みを世界の皆さんに発信していき、都市間の架け橋として国際協力を強化できればと思っています。

プロフィール



Joseph Drake

出身はアメリカニューヨーク州のサラナクレーク。6歳のころに州都オルバニーに転居。大学は州立大学ニューパルツ校国際関係、アジア研究学部を卒業。1年間金沢

大学に留学。子どものころから日本や日本語に興味を持ち、日本での生活の第一歩として JET プログラムに参加。将来の夢は漢字の研究を行うこと。